



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

平成 29 年 7 月 7 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2017 年第 26 週
(6/26~7/2)

- 咽頭結膜熱は患者数の多い状態が続いており、恵那保健所管内で引き続き警報レベルとなっています。
- 感染性胃腸炎は前週より減少したものの、岐阜保健所管内では引き続き患者が多くなっています。
- 手足口病は 3 週続けて増加しています。
- 流行性耳下腺炎は週により増減していますが、継続して患者が報告されています。

■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

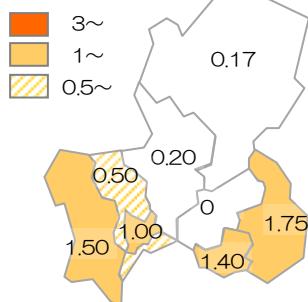
レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	咽頭結膜熱	定点当たり 3 人以上 (1 人を下回るまで継続)	恵那 (1.75)
注意報レベル	なし		—

※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。

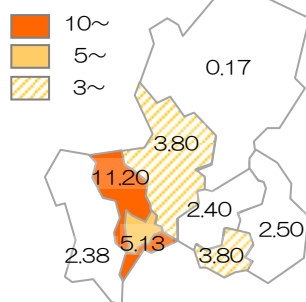
警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後 4 週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

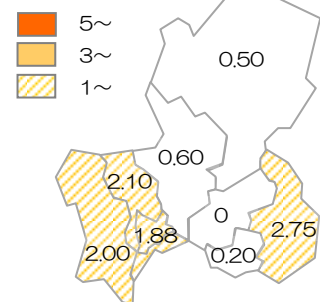
<咽頭結膜熱>



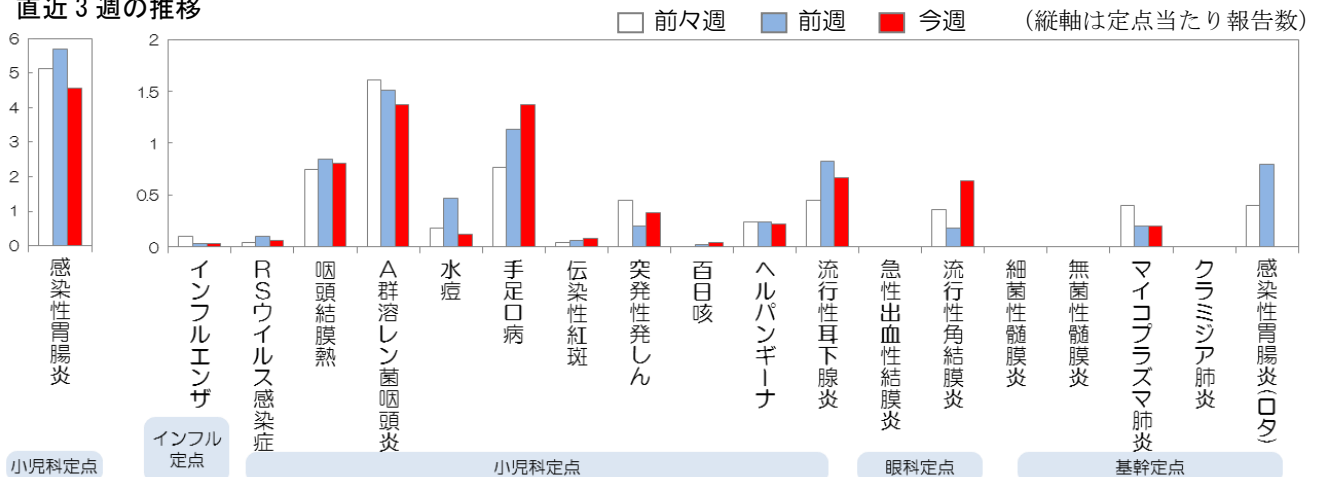
<感染性胃腸炎>



<手足口病>



● 直近 3 週の推移



■ 全数把握対象疾患の発生動向

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 6 例
- 3 類感染症：細菌性赤痢 1 例、腸管出血性大腸菌感染症 1 例
- 4 類感染症：オウム病 1 例
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、梅毒 5 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

※今週のトピックスはありません。

岐阜県感染症情報センターHP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>

<情報編>